

防災訓練・情報伝達連携訓練・救護所訓練



1. 総合防災訓練

(平成28年10月23日)

参加者：274名

・情報伝達訓練、初期消火訓練、119番通報訓練、救出/救護訓練、避難所運営訓練、給水/給食訓練、災害時要援護者支援訓練等を行いました。

・はしご車による高所避難者救出訓練は、大変な迫力と緊迫感がありました。相模原消防署のはしご車は35m級で、12~13階の高層ビルまで届くそうです。



2. 向陽小学校救護所訓練 (平成28年12月4日) 参加者：20名

・救護所には多くの医師、看護師、消防隊員が参加していました。小山地区から参加した人達は、医師のトリアージを受ける傷病者役を受け持ちました。担架で運ばれたり、応急手当を受けたりと緊張の連続でしたが、災害発生時の救護所という極限状態に身を置くという貴重な体験ができました。

3. 中央区役所との情報伝達連携訓練

(平成28年12月17日) 参加者：17名

・小山地区内の防災組織と、中央区役所との連携強化を図ることを目的とした訓練でした。各自治会からの災害発生状況が無線で確認し、現地対策本部へ通知したり、中央区役所が発表した情報を各自治会に無線伝達したり、実際の災害発生を想定した様々な訓練が実施されました。

・訓練後の反省会では次々に改善提案が出され、参加された方々の強い意気込みを感じました。



市政功労表彰

平成28年11月20日の市制記念日に、市政の進展や公共の福祉の増進等に功労のあった方々の表彰式がけやき会館で行われました。市政功労表彰は95人と6団体が表彰されました。

その中で、小山地区に多大な貢献をいただいた次のお二人を紹介いたします。

☆ 自治会活動 久保原自治会 安藤孝洋さん

☆ 健康づくり普及員活動 小山公民館 永富多美子さん

長い期間、小山地区のために尽力されていることを、心より感謝申し上げます。



安藤さん



永富さん

ガールスカウト活動が実り晴れの叙勲

ガールスカウト神奈川県連盟の顧問伊藤ケイさんは、永年にわたるガールスカウト活動を通して社会教育活動に注がれた功績が認められ、秋の叙勲において旭日双光章を受賞されました。

昭和43年7月に相模原市にガールスカウト神奈川第30団を設立し、団委員長、神奈川県支部長、顧問を歴任されるなど、ガールスカウト活動に尽力されました。

現在は相模原4丁目(東第一自治会)にお住まいで、さがみ仁和会病院の設立者婦人でもある伊藤さんは、自治会にもさまざまな貢献をされています。



伊藤さん

自治連視察研修会レポート

12月6日に視察研修会を行いました。

今回は城山発電所と宮ヶ瀬ダムを訪問し、水資源の利用状況を勉強しました。

城山発電所は、城山湖と津久井湖の165mの落差を利用する水力発電所で、昼間は発電し夜は城山湖に水を揚げる純揚水式の発電所です。地下には4基の水車発電機があり、最大で25万Kwの電力を発電しています。50年も前に地下深くこのような設備を建設した事に一同感動を覚えました。

宮ヶ瀬ダムは洪水対策・川の環境維持・水道水の確保そして発電を目的として平成10年に完成した多目的ダムです。高さは156m・総貯水量は1億9300万m³で、2万5千kwの発電を行っています。ダムサイトには「水とエネルギー館」や「あいかわ公園」があり、家族そろって一日楽しめる場所になっています。



【地下230メートルの発電電動機室】

年末 交通・防犯夜間パトロール

安全安心まちづくり推進協議会と小山地区自治会連合会が主催し、各関係団体と連携した恒例の年末パトロールが実施されました。「青パト」3台が集結し12月15日と22日の2日間にわたり、3グループに分かれて総勢22名で小山地区の9自治会区域をそれぞれ巡回しました。



市内では年間およそ100人に1人が犯罪被害に遭っています。小山地区では凶悪な事件も発生しました。地域全体で協力し交通事故や犯罪を減らす努力がますます必要になってきています。

「自分が犯罪に遭うことなどない・・・」といった当事者意識の欠如が落とし穴、「もしかして自分も・・・」という気持ちを常に持ち、暮らしの防犯力を高めましょう。

犯罪に遭わないために

- * 空き巣狙いに対しては「徹底的な鍵かけを」
- * オレオレ詐欺には「すぐ家族に連絡確認する」
- * ひったくりには「スマホに夢中にならない」
- * 不審者には「子どもを一人にさせない、しない」

文化祭・収穫祭 (宮下自治会)

宮下自治会では隔年で開催している文化祭と同時に毎年開催している収穫祭を11月19日、20日の二日間にわたり実施しました。両日の参加者は約350名でした。展示会には油絵、水彩画、書、刻字、手工芸品、盆栽など19品目約90点が展示されました。

また自治会館前の広場では収穫祭が賑やかに開催され、宮下おやこ村で収穫した野菜を使ってのトン汁は大好評、綿菓子、焼きそば、甘酒、それに昨年からはじめたもちつき大会はチビッコたちに大好評でした。



もちつき大会(すすきの自治会)

新春の1月22日(日)に、すすきの自治会、子ども会、寿寿喜の会(老人会)三者協賛のもちつき大会が、すすきの公園で盛大に開催されました。前日から合計36kgのもち米を研いで準備し、朝9時過ぎから炊き上げ蒸らした熱々のお米を少しこねてから、2つの木臼を使って9回に分けて餅つきを行いました。“それー、それー、ペッタン、ペッタン”と大きな掛け声とともに、柔らかくて美味しいお餅が出来上がります。小さなお子さんでも代わる代わる杵を持ってペッタンペッタンと、とても楽しそうです。ワイワイキャーキャーと明るい声も響きわたります。お餅につける具も、あんこ、きなこ、大根おろし、海苔、胡麻など盛り沢山で、みんな思い思いの具でお餅を美味しくいただきました。厳寒の候でしたが、豚汁や甘酒や綿菓子も振舞われ、とても楽しく心温まる一日となりました。

